

5月例会 新幹線ウォーク敦賀散策



距離数・行動					
番号	施設	距離 Km	延べ距離 Km	行動	予定 時間
スタート	敦賀駅西口 つねがあらひと像前	0	0	集合・スタート	9:40
①	気比神宮	1.3	1.3	お参り	10:30
②	敦賀市立博物館	1	2.3	↓	
③	つるがみなと山車会館	0.1	2.4	↓	
④	敦賀ヨーロッパ軒本店	0.2	2.6	↓	
⑤	敦賀鉄道史料館	0.9	3.5	↓	
⑥	敦賀ムゼウム	0.6	4.1	↓	
⑦	敦賀赤レンガ倉庫	0.6	4.7	↓	
⑧	金ヶ崎宮	0.4	5.1	お参り	11:30
②～⑦	番号施設	—	—	食事・自由見学	
⑧	敦賀赤レンガ倉庫 電車付近			集合	14:00
ゴール	敦賀駅	2.1	7.2	ゴール・解散	15:00
	連絡電話番号		090-4687-0564 090-2348-9336	松林 愛宕	

敦賀散策ガイド

① 氣比神宮



7柱のご祭神をまつる北陸道の総鎮守。市民に「けいさん」の愛称で親しまれる氣比神宮は、大宝2（702）年の建立と伝えられています。明治に官幣大社となりました。高さ約11mの大鳥居（重要文化財）は春日大社（奈良県）・厳島神社（広島県）と並ぶ日本三大木造大鳥居の一つです。

元禄2年旧暦8月（現在の9月終わり頃）には松尾芭蕉が訪れ、境内には松尾芭蕉の像と句碑があります。月の光が照らす境内の美しさを読んでいる句もあり、日本百名月にも認定されています。毎年9月に行われる敦賀まつりには、境内に露店が立ち並び、市内外から多くの人々が訪れます。

② 敦賀市立博物館



敦賀市立博物館の建物は、昭和2年に二代目大和田莊七によって建てられた大和田銀行本店を活用したものです。設計は建築家の永瀬狂三・吉田克によるものです。銀行でありながら市民に開かれたパブリック・スペースを持つという公共性を兼ね備えていました。北陸初のエレベーターや、レストラン、迎賓室、集会場などを備え、当時の敦賀にとって先進的な建物であったといえるでしょう。近代の敦賀の発展を経済的に支えた大和田銀行は、今日では敦賀市の歴史と文化を守り、伝え広める「敦賀市立博物館」として地域の中に生き続けています。平成24年から3年を費やした文化財修復工事を経て、平成29年に建物（旧大和田銀行本店本館）は国の重要文化財に指定されました。建物の重厚な造りや施された洋風の装飾、また、地下空間や3階の講堂まで、市民に親しまれた銀行の当時の面影を感じることができます。

③ みなとつるが山車会館



敦賀まつりで巡行する勇壮華麗な山車6基を収納、そのうち3基を展示しています。武者人形、実物の鎧や兜、能面などの展示コーナーのほかに、「敦賀城主 大谷吉継展示コーナー」を常設しています。ビデオプロジェクターとスライドを使った迫力ある山車巡行の映像も見られます。

④ 敦賀ヨーロッパ軒 本店

福井市に総本店を構える洋食店。あっさりとした仕上げられたカツが3枚ものソースカツ丼が有名



⑤ 敦賀鉄道史料館（旧敦賀港駅舎）



敦賀鉄道資料館として利用されているこの建物は「欧亜国際連絡列車」の発着駅としてかつて重要な位置を占めていた敦賀港駅舎を再現したものです。敦賀港の歴史や観光のPR館として使用されています。

「欧亜国際連絡列車」は、明治45年6月から新橋-金ヶ崎（後に敦賀港駅と改称）間で運行されていました。ウラジオストク直航の船に連絡し、ウラジオストクからはシベリア鉄道を經由してヨーロッパへと通じていました。

⑥ 敦賀赤レンガ倉庫



敦賀港の東側に2棟並んで建っている『赤レンガ倉庫』は、福井県内でも有数のレンガ建築物。2009年1月には、北棟・南棟・煉瓦塀が国の登録有形文化財に登録されました。外国人技師の設計によって1905年に建てられた当時は石油貯蔵庫として使われ、数年前までは昆布貯蔵庫としても使用されていました。2015年10月には、敦賀の明治後期から昭和初期のまちなみを再現して史実とエンターテインメント性を両立させた「鉄道と港のジオラマ」、「敦賀ならではの魅力的なレストラン」を備え、歴史と文化と食を楽しむことができる新たな観光施設として生まれ変わりました。またこのレンガ倉庫の他に、「きらめきみなと館」側には昭和レトロの雰囲気漂う現役の倉庫群があります。

⑦ 人道の港 敦賀ムゼウム



敦賀港は、明治から昭和初期にかけて、ヨーロッパとの交通の拠点としての役割を担い、1920年代にポーランド孤児、1940年代に「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港です。資料館「人道の港敦賀ムゼウム」では、数々の苦難を乗り越えて敦賀に降り立ったポーランド孤児とユダヤ難民の史実を中心に、当時の敦賀市民の証言やエピソードのほか、今も続く関係者との心温まる交流を紹介し、命の大切さと平和の尊さを発信しています。

⑧ 金崎宮



金ヶ崎城址の麓にある神社で、約400本のソメイヨシノがあり桜の名所として知られています。4月1日～15日には神事・花換まつりが行われます。

織田信長が朝倉攻めの折り、信長の妹お市は、信長が浅井・朝倉両軍に挟まれ窮地に陥ったことを知らせるため、両方を紐で結んだ袋に小豆を入れ陣中に届けたそうです。それを察した信長は後に近江姉川にて浅井・朝倉軍を破ることができたそうです。

これにちなんで金崎宮で授与されるお守りや絵馬には、両端を結んだ袋の形をしたものがあります。

詳細は

[観光スポット - 旅する港町つるが 敦賀観光協会公式サイト \(tsuruga-kanko.jp\)](http://www.tsuruga-kanko.jp)